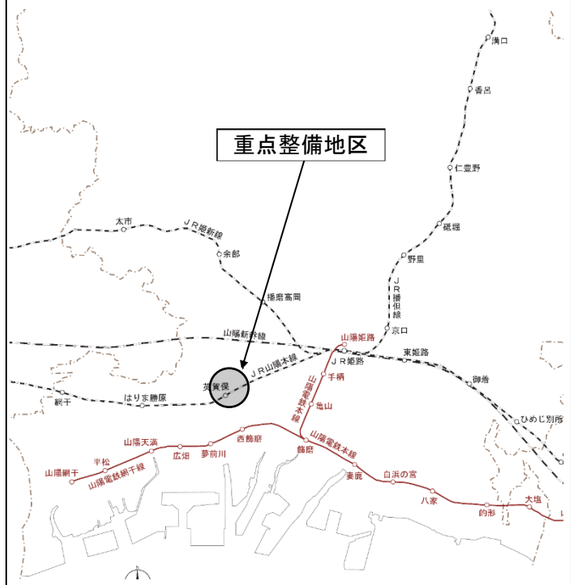
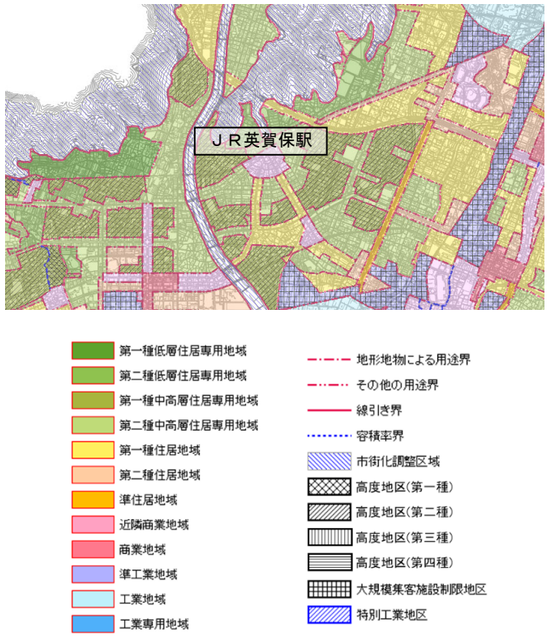
## JR英賀保駅周辺地区【概況】

### 位置図




### 用途地域図




### 地区特性

**【データ】**

(1) ＪＲ英賀保駅

①１日平均乗降客数‥8,734人/日（令和5年度）

②駅の概要

- 構　造‥‥‥‥‥‥‥‥地上
- 駅　舎‥‥‥‥‥‥‥‥地上駅、自由通路あり
- ホーム‥‥‥‥‥‥‥‥相対式･島式2面3線
- 改札口‥‥‥‥‥‥‥‥2

③駅前広場の概要

- 面積‥‥‥‥‥‥‥‥‥（北）1,900㎡
  （南）1,790㎡
- バスバース数‥‥‥‥（北）1
  （南）2
- タクシーバース数‥‥（南）2

④自由通路

- 独立型　１基
- 自転車用スロープ付階段‥‥（北・南）各1
- エレベーター‥‥‥‥‥‥‥（北・南）各1

**【地区の特性】**

- ＪＲ英賀保駅は、1 日当り乗降客数 8,734 人（令和 5 年度（2023 年度））であり、駅周辺は住居系土地利用となっている。また、通勤通学駅として神姫バスが 4 路線運行されており、交通結節機能を有している。
- 駅南側は昭和 30 年代に施行された土地区画整理事業により、駅を中心に放射状に道路が延びており、県道姫路環状線では、歩行者自転車道と電線類地中化が整備済みである。また、駅前広場にはタクシー乗降場、バス停、歩行者自転車道、駐輪場等が整備されている。
- 駅北側は、英賀保駅周辺土地区画整理事業により駅前広場、公園等の整備が進められており、土地区画整理事業区域の外側には、既存集落や区画整理された住宅地が広がっている。
- 駅周辺には、駅の南側に主要な施設として商業施設や金融機関、医療施設等が分布している。
- ＪＲ英賀保駅周辺地区は、総合計画の中では「多核連携型都市構造の地域交流拠点」として位置づけられている。



### 地区特性

**【バリアフリーから見た主な現況と課題】**

① 鉄道駅

- 駅舎はバリアフリー化が進められており、駅南の入口にスロープが設置され、駅構内におけるエレベーターや幅広改札口、バリアフリートイレ、ホーム端の転落防止柵等が整備されている。

② 駅前広場、バスターミナル

- 南駅前広場及び北駅前広場ともに、歩車道の分離や駐輪場等が整備されている。
- 北駅前広場にはバス及びタクシー、自家用車の乗降場、身障者乗降場が設置され、送迎利用者等の混雑が改善された。

③ 道路

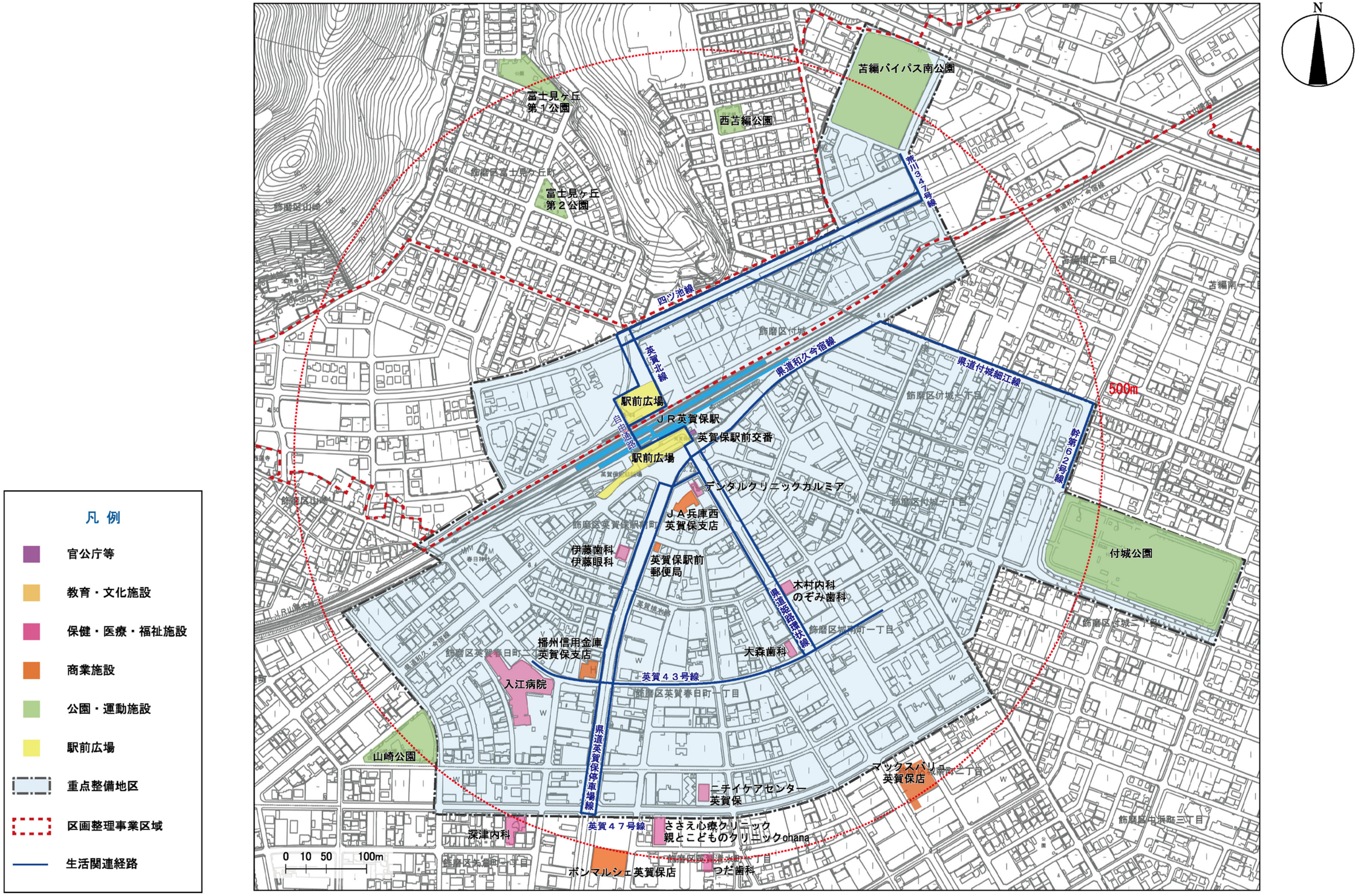
- 周辺道路では、自転車歩行者道の整備にあわせ、視覚障害者誘導用ブロック等が整備された。
- 駅の北側と南側の移動は、駅の西側にある英賀保跨線歩道橋か、駅の東西 500m 圏に存在する踏切での移動であった。車いす利用者等が自力で移動できるようするため、エレベーター（北・南）の設置を含む自由通路が整備された。
- 駅南側の線路と並行する路線は、歩道が設置されているものの、旧来のマウントアップ形式の歩道であり、電柱等で幅員が減少している箇所があるうえ、視覚障害者誘導用ブロックが設置されていない区間もある。
- 駅南側の付城公園への経路は歩道が整備された。

## JR英賀保駅周辺地区【関連事業計画】

英賀保駅周辺土地区画整理事業　　資料：区画整理課ＨＰ

| | |
|---|---|
| 整備の目標 | 本地区は、姫路市の中心部であるＪＲ姫路駅の南西約 3.8 キロメートルに位置し、ＪＲ英賀保駅の北側に面する東西 2.5 キロメートル、南北 1.5 キロメートルの区域です。<br>ＪＲ英賀保駅は、神戸（三宮）まで新快速で 50 分と通勤可能なことから駅周辺は宅地需要が高いものの、北側は都市基盤が未整備なことから農地のミニ開発が見られ、このまま放置すると無秩序な“まち”となる恐れがあります。<br>また、地区周辺に存する県立姫路商業高校や荒川小学校等の公共施設へのアクセスとしての南北の重要路線である県道田寺今在家線は、幅員が狭小であるうえ、地区を南北に分断するＪＲ山陽本線と交差する棚田踏切は市内でも有数の危険・渋滞個所であるため、ＪＲ英賀保駅へのアクセスが良好でなく駅の機能を十分に活用できていません。<br>また、ＪＲ山陽本線が排水機能を阻害し、地区内の一部は年に数度は床下浸水の被害に遭うという状況にあります。<br>よって、本事業により県道田寺今在家線の棚田踏切を立体交差とし、ＪＲ英賀保駅北側に交通広場、四ツ池線を築造し駅へのアクセスを高めるとともに、水路の整備を強化することにより排水性の向上を図り、近隣公園、街区公園を設け良好な市街地の形成と快適な住環境の創出を図り、人にやさしく災害に強い街づくりを目的としています。 |
| 施行者 | 姫路市英賀保駅周辺土地区画整理組合 |
| 施行区域面積 | 69.5 ヘクタール |
| 減歩率 | 31.83%(公共 23.47%) |
| 施行期間 | 平成 11 年度（1999 年度）～令和 9 年度（2027 年度） |
| 総事業費 | 23,900 百万円 |
| 都市計画決定 | 平成 11 年（1999 年）3 月 26 日 |
| 事業計画決定 | 平成 11 年（1999 年）11 月 2 日 |

# JR英賀保駅周辺地区【現況図】




## 凡 例

- 官公庁等
- 教育・文化施設
- 保健・医療・福祉施設
- 商業施設
- 公園・運動施設
- 駅前広場
- 重点整備地区
- 区画整理事業区域
- 生活関連経路